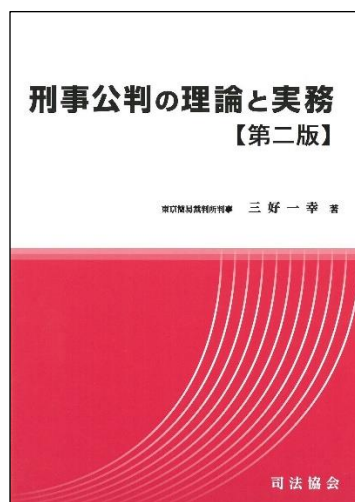


刑事公判の理論と実務【第二版】



著者 : 東京簡易裁判所判事 三好一幸
 定価 : 本体 2,700 円 + 税
 判型 : B5 判
 ページ数 : 222 ページ
 ISBN : 978-4-906929-79-5
 発行 : 2019 年 6 月

内容

本書は、平成 25 年に発行され、好評を得ている「簡易裁判所における刑事公判の理論と実務」の改訂版として書き下ろされた解説書です。

本書(第二版)では、初版発行以降に施行された「自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律」、「刑の一部の執行猶予制度等」等に加え、窃盗症(クレプトマニア)についての貴重な記述も追加されています。さらに、裁判例についても、平成 30 年度までの判例を加えて一層充実されています。

刑事公判(第一審)を担当される裁判所職員、弁護士等の皆さまに大変有用となる一冊です。

関連書籍

図書 No.132 [略式手続の理論と実務【第二版】](#)

図書 No.139 [令状審査の理論と実務](#)

目次(抄)

第1編 争いのない事件	第5 累犯前科及び確定裁判	第3章 審理
第1章 公判手続の原則	第6 法令の適用	第1 検察官の冒頭陳述
第1 当事者主義	第7 量刑の理由	第2 検察官の証拠調べ請求
第2 弁論主義	第8 調書判決	第3 証拠意見
第3 口頭主義	第6章 量刑	第4 伝聞法則と例外
第4 直接主義	第1 量刑判断の在り方	第5 証拠決定
第5 公開主義	第2 執行猶予と実刑	第6 証人尋問
第2章 起訴状の記載事項	第3 実刑の場合の量刑	第7 証拠調べに関する異議
第1 訴因の特定	第4 執行猶予の場合の量刑	第8 身柄拘束の長期化
第2 起訴状一本主義	第5 余罪と量刑	第9 公判手続の停止
第3 結語の記載	第2編 争いのある事件	第4章 判決書
第3章 シナリオ	第1章 争いの明確化	第1 証拠の標目
第4章 公判手続	第1 被告事件に対する意見陳述	第2 事実認定の補足説明
第1 冒頭手続	第2 公訴事実の否認	第3 法335条2項の主張に対する判断
第2 証拠調手続	第3 法335条2項の主張	第5章 罪名別の検討
第3 論告、弁論、最終陳述	第2章 証拠構造論	第1 窃盗罪
第4 判決宣告	第1 要証事実	第2 公務執行妨害罪
第5章 判決書	第2 証拠の種類	第3 過失運転致死傷罪
第1 被告人の表示	第3 証拠能力と証明力	第4 道路交通法違反
第2 主文	第4 証拠構造論	第6章 判決書例
第3 事実		
第4 証拠		